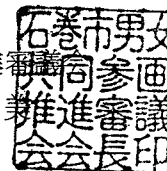


令和元年10月1日

石巻市長 亀山 紘 殿

石巻市男女共同参画推進審議会
会長 熊沢 由 美

平成30年度における石巻市男女共同参画基本計画の進捗状況に関する成果に対する意見
(評価)について(回答)

令和元年9月4日付け依頼されたこのことについて、本審議会において審議いたしましたので、石巻市男女共同参画推進条例第21条第2項の規定に基づき下記のとおり回答いたします。

記

1 平成30年度取組実績・成果に対する評価

(1) 基本目標(6項目)の取組成果 ⇒『概ね妥当』

各基本目標に対する評価項目のうち	① 「推進」	1項目
	② 「やや推進」	3項目
	③ 「現状維持」	1項目
	④ 「後退」	1項目



① 「推進」と評価する項目(1項目)

《基本目標1「政策形成及び方針決定の場への女性の参画推進」》

- ・成果指標における平成30年度実績値が計画策定時に比べ全ての項目で上昇している。
- ・なかでも実施されている研修や講座が、先進的でタイムリーな内容となっており、また講師の人も素晴らしい。このことから、「推進した」と評価する。
- ・ただし、女性人材リストは、登録者が減少する等、うまく活用・運用されていないように思われる。女性人材リストのあり方について、検討すべきタイミングではないかと思われる。

② 「やや推進」と評価する項目(3項目)

《基本目標2「地域・学校における男女共同参画の推進」》

- ・「男女共同参画社会」という言葉を知っている人の割合の項目で、実績値は上昇しているが、多くの市民に内容等を正しく理解してもらえているか疑問が残る。今後、更なる理解促進に向けた普及啓発を図る必要がある。
- ・出前講座の実施が倍増する等、取組は評価できる。しかしながら、自治会等の役員に占める割合やパパ講座の参加が低い状況にあることから、他の活動団体との連携や、各種事業への盛り込み方等を工夫する必要がある。
- ・数値には反映されていないものの、他市町村の模範となるような取組を数多く実施していることから、個々の取り組みを評価し「やや推進」と評価する。
- ・若い世代の方は、比較的前向きに男女共同参画推進施策の内容理解や取組参加をするので、意識付け及び啓発に一層努められたい。

《基本目標3「働く場における女性の活躍推進に向けた環境の整備」》

- ・「女性のチカラを活かす企業」認証企業数が伸び悩んでいることから、認定企業のメリットや、申請することがより良い職場環境づくりにつながる事等について、企業側に認識してもらえよう働きかけていただきたい。
- ・男性の育児参加啓発セミナーの参加者数が少ないことから、夫婦で参加を促す等、周知方法、開

催時期含め検討いただきたい。

- ・女性の働く場の環境づくりに向け、女性活躍推進法に基づく会議体の立ち上げの意義は非常に大きい。認証企業は大学生等の就業に係る企業選びの際のポイントにもなっている。女性活躍推進会議において働き掛けを行っていく必要がある。
- ・パートナーに理解してもらえるセミナー等の開催内容や周知方法を工夫するとともに、女性活躍推進会議による女性の働きやすい職場環境整備に期待し、「やや推進」と評価する。

《基本目標4「家庭生活における男女共同参画の実現の促進」》

- ・子どもの数が減少傾向にあるなか、これ以上の保育所等の新設は難しいと思うが、親の負担を考慮すると、利便性や緊急性の観点から、居住地の近くに十分な数が設置されることが望ましい。
- ・子ども医療費も上昇傾向にあり、ハード面の整備充実は、実績的に評価できることから、「やや推進」と評価する。

③ 「現状維持」と評価する項目（1項目）

《基本目標6「復興・防災における男女共同参画の推進」》

- ・女性の自主防災組織参画や消防団入団が実績なしの現状だが、防災は女性が参画しにくい分野であると認識している。
- ・地域コミュニティの高齢化率が高い。自主防災機能を高めるためにも、若者が入りやすい環境づくりを含め、自治会活動を活発にするための行政サポートが必要と思われる。
- ・数値を伸ばすことが難しい項目もあるが、強く推進する必要がある分野であることから、積極的な取組を期待し、「現状維持」と評価する。

④ 「後退」と評価する項目（1項目）

《基本目標5「男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援の推進」》

- ・虐待防止センターの設置のほか、配偶者暴力相談支援センター事業実施要綱の制定自治体は県内でも仙台市と石巻市だけとなっている先進的な取組は評価するが、市と市民側の認知度にズレが生じている。更なる啓発活動が必要と思われる。
- ・取組はされているものの、認知度が低下していることから、「後退」と評価せざるを得ない。
- ・行政側の体制や取組内容は評価に値するが、認知度を上げる努力をするとともに、認知度の低さの原因究明が求められる。

2 平成30年度取組実績・成果に対する審議会意見

平成30年度の成果として、先進的で他市町村の見本となる取組が各項目で実施されている等、取組内容は評価に値する。一方、防災分野での男女共同参画やDVの認知度において実績値が依然として低い状態にあり努力を要することから「概ね妥当」と評価した。

3 今後について

石巻市男女共同参画基本計画（第3次）では、働く場における女性の活躍推進、DV防止、復興・防災における男女共同参画の推進などが盛り込まれ、先進的な事業に取り組んでいることから、他の自治体の見本として女性活躍や働き方改革などをはじめとする男女共同参画の更なる推進に期待をしている。

今後は、その取組内容を市民に対し積極的にPRすることで認知度を高める努力をするとともに、企業や関係団体などと連携を密にしながら男女共同参画推進事業の展開を図り、今回、後退となった項目については特に不断の努力を続けてほしい。